

令和 6 年度 政務活動費支出整理簿

会 派 名 自由民主・無所属クラブ

氏 名 山之内 悠

項 目	研修費		支 出 内 容
費 目	参加費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
5-1	5 / 30	15,000	第16回日本自治創造学会研究大会 参加費（千代田区） （場所、主催者等は「調査視察等届出書」等に記載）
5-2	10 / 22	29,000	第29回清溪セミナー参加費（新宿区） （場所、主催者等は「調査視察等届出書」等に記載）
6-1	11 / 16	3,000	議員向け生成AI活用講座 参加費（八戸市） （場所、主催者等は活動記録簿に記載）
4-1	11 / 16	3,000	議員向け生成AI活用講座 参加費（八戸市） （場所、主催者等は活動記録簿に記載）
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		50,000	備 考
合 計		50,000	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	参加費	整理番号	5-1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

間 盛 仁 様

No. 3

金 額

7,150.00

但

第16回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2024年 5 月 30 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

一般財団法人

日本自治創造学会

理事長 穂 坂 邦 夫

東京都千代田区神田佐久間町2-24-30

コクヨ ウケ-695

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	参加費	整理番号
領 収 書 等 貼 付 欄				

No. 1

領 収 書

青森県
間 盛仁 様

2024年10月22日

¥29,000. —

第29回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘
日本青年館
TEL 03-6452-9015

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	参加費	整理番号	6-1
領 収 書 等 貼 付 欄					
領 収 書 山之内 悠 様 ¥3,000- 但し 議員向け生成AI活用講座参加費 として 令和6年11月16日 上記正に領収いたしました。 株式会社TSネット  代表取締役 寺田 昭夫 〒036-8075 青森県弘前市撫牛子3丁目1-15 Tel:0172-35-0011 FAX:0172-31-1070					

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	参加費	整理番号	4-1
領 収 書 等 貼 付 欄					
領 収 書 久保 百恵 様 ¥3,000- 但し 議員向け生成AI活用講座参加費 として 令和6年11月16日 上記正に領収いたしました。 株式会社TSネットワーク 代表取締役 寺田 昭夫 〒036-8075 青森県弘前市撫牛子3丁目1-15 Tel:0172-35-0011 FAX:0172-31-1070					

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自由民主・無所属クラブ

項 目	研修費			
年 月 日	令和6年11月16日（土）15時30分～18時			
場 所	八戸総合卸センター			
相 手 方	青森県生成AI活用推進協議会			
参加者氏名	久保 百恵、山之内 悠			
目的・内容・ 結果等	・詳細については、別紙のとおり			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	参加費	セミナー参加費（久保 百恵）	3,000 円	
	参加費	セミナー参加費（山之内 悠）	3,000 円	
			円	
			円	
			円	
備 考	・説明資料については、モニター投影のみ（紙媒体での配布はなし）			

視察報告書

1. 日時

令和6年11月16日(土) 15:30～18:00(受付15:00～)

2. 場所

八戸総合卸センター 八戸市卸センター1丁目12-10

3. 会費

3,000円(会場費及び資料印刷代、講師謝礼等)

4. 講師

寺田一樹氏(青森県生成AI活用推進協議会事務局長)

5. テーマ

「生成AIの活用で議員、議会活動も新時代へ」

6. 参加議員

久保百恵・山之内悠

7. 研修目的

生成AIの最新技術を活用することによって、議員や議会の活動がどのように変革されるかについて理解を深め、今後の議会活動に役立てることを目的とする。

8. 研修内容

- 生成AIの基本概念と活用方法
- 議会活動へのAI活用事例
- 議員活動における生成AIのメリットとデメリット
- 質疑応答

9. 所感

生成AIの技術が進化し、議会活動にどのように役立つかを学ぶことができた。特に、資料作成や意見交換の効率化、議会の情報提供方法において大きな変革をもたらす可能性があると感じた。参加した議員の中には、具体的なAIツールを導入したいという意見もあり、今後、当市においてもAI技術を導入するための検討を進めていく必要があると考える。

10. 今後の提案

- ・ AI技術の導入事例を具体的に調査し、当市の議会に適用する方法を検討する。
- ・ 生成AI活用の専門家を招いた追加の研修を実施する。